

伊豆半島ジオパークにおける教育活動の取組み

ジオパークが目指す目標を改めて紹介します。

Sustainable な地域づくり

地域を活かした産業や観光

地域の自然・文化の保全

災害に強い地域

自然との持続可能なあり方を考え、行動できる人づくり

これらを達成するために子ども達に ↓ 何をverteほしいか・学んでほしいか

地域に貢献する

郷土愛

地域に帰る

地域と児童

生徒たち

災害から暮らし・生活を守る

広い視野・長期的な視野

この目標の実現の一環として、教育活動を協議会では行っています。毎年、4～6月にかけては各市町の教育委員会や校長会を通じて、教育分野での連携について説明しています。

これまでこのような教育活動を展開しています。

○実験を通じて単元ごとに学習する 「総合」「理科」「ジオリア見学」「防災」

※事例 噴火実験・溶岩の流れ方・海中での堆積の様子・火山活動による山の出来方など

○事前授業で伊豆半島の成り立ちや地形について学ぶ 「総合」「ジオリア見学」「理科」「防災」

○自分達の周りにあるジオサイトを見学し、どのようにして地形ができたのか見学し考える 「総合」「FW」「防災」

◇教育連携のご相談

協議会では学校現場からの要請を受けて教育活動を行っています。担当教員と事前打ち合わせを行い、何をやりたいか、どういう風に進めて行くかを確認し、出前授業を行います。研究員が対応しますのでご安心ください。以前から取り入れている学校では年間計画に盛り込んでの取組みも行っています。児童・生徒へ事前に学習を行うことで、身に付く効果的な教育活動が展開できます。興味を持たれたならば、ぜひ上記に連絡願います。

※これまでの教育通信は伊豆半島ジオパーク推進協議会ホームページ <https://izugeopark.org/enjoy/education-news/>にて閲覧できます。

○出前授業への流れ

事前打合せ



出前授業



FW(フィールドワーク)

